

コミュニケーションのための便利なツール

やさしい日本語

外国人でも、日本語が話せる人もたくさんいます。日本語を勉強している人も多いので、やさしい日本語で時間をかけて話すことで、伝わることも多くあります。やさしい日本語は、「相手にわかりやすい日本語」です。

やさしい日本語で話したり、やさしい日本語で書くことで、外国人の方とのコミュニケーションがぐっとスムーズになるはずですよ。

詳しくは、やさしい日本語ガイドをご覧ください。



翻訳アプリ VoiceTra

やさしい日本語でうまく伝わらない、というときは、多言語翻訳アプリVoiceTraが便利です。

31言語に対応しています。

翻訳アプリを使うときは、やさしい日本語を使うと、上手く翻訳されやすくなります。

iOSおよびAndroid版が提供されています。

詳しくは、同封のVoiceTraの説明チラシをご覧ください。



通訳・翻訳ボランティア

岡山市国際交流協議会(事務局:岡山市国際課)では、非営利な機関・団体、個人からの依頼があれば、通訳・翻訳ボランティアに登録している人に呼びかけ、通訳を派遣したり、翻訳を行ったりしています。

地域での行事の案内を翻訳してもらいたいときや、通訳と一緒に参加してもらいたいときには、ご相談ください。

ボランティアの募集に時間がかかりますので、1か月前にご連絡をいただくことをおすすめします。

(公的機関が発行している文書の翻訳、公的機関に提出するための文書の翻訳及び契約に関する文書の翻訳は行いません。)

災害時多言語表示シート

災害時に避難所や外国人が集まる施設、公共交通機関、SNSでの周知などに使えるフレーズが、13言語+やさしい日本語などでダウンロード・印刷できるツールです。

「トイレ」や「立入禁止」など、普段から使えるフレーズもたくさんありますので、イベントをするときから活用して、いざというときにすぐ使えるように練習しておきましょう。

詳しくは、自治体国際化協会のHPをご覧ください。

<https://dis.clair.or.jp/open-data/bsc-common/menu/1>



地域のイベントに、外国人市民もおさそいしてみましょ！

外国人市民

おさそい

の手引き

おまつり

運動会

防災訓練

町内清掃

やさしい
日本語

おさそいの
ポイント

便利な
ツール

地域と一緒に住んでいる外国人市民の方も、地域の行事におさそいしてみましょ！

災害時など、困ったときに助け合うためには、日ごろからつながりを作っておくことが大切です。

でも、うまくコミュニケーションが取れるかちょっと心配・・・というみなさんのために、外国人市民をおさそいして、一緒に参加するためのコツをお伝えします。



＼お問合せはこちら／
岡山市役所国際課

086-803-1112

外国人市民を おさそいしてみよう!



共に同じ地域に暮らしている外国人市民。
道ですれ違ったり、お店で見かけたりはするけれど、話した
ことはないという人もいるのでは？

日本語が通じるかな、災害が起こったらちゃんと避難できる
かな、そんな心配が少しでもあれば、まずは地域の行事にお
さそいしてみましよう！

外国人市民と一緒に活動すると・・・

- 👍 顔が見える関係性が作れる
- 👍 地域の情報やルールを共有できる
- 👍 お互いに困ったときに話ができる



万富公民館で月に1回行っているマルシェ万富には、新鮮な
野菜や果物を求めて地元に住んでいる外国人が訪れます。
最初は買い物だけに来ていた外国人が、出店の準備や荷物を
運んだりして手伝ってくれるようになりました。

この交流を生かして、公民館で「まんとみ国際交流すすめ隊」
を結成し、月に1回日本語教室を開催し、交流の場を広げてい
ます。

さらに、外国人の方に、避難訓練などにも参加してもらって、災害が発生した時、外国人の方
も素早い避難ができるよう、地域を上げて取り組んでいます。

おさそいするときに 気をつけることは？

1 まずは日本語で話しかけてみる

日本語が話せると言っている外国人市民は約8割！やさしい日本語が通じなかったら、翻
訳アプリなど他の方法を考えましよう。

2 どんなイベントなのか、直接会って、具体的に説明する

メールの一斉送付やSNSへの投稿では、なかなか伝わりません。
直接話して、イベントの内容や思いを伝えると、興味を持ってもらえる可能性が高まります。

3 やさしい日本語や多言語の資料を用意する

文字がたくさん難しい日本語の資料をもらっても、なかなか読めません。
自分の言語で書いてあると、私も参加していいんだ！と興味を持ってもらえるきっかけに
なります。

4 一緒に参加し、一緒に運営する

一緒に行事に参加することで、同じ地域の一員としての一体感が生まれます。
さらに、運営に関わってもらえると、力を貸してもらえたり、参加者を連れてき
てもらえたり、新たなアイデアが生まれたり、相乗効果が期待できます。

外国人市民と地域がつながる災害対応スキルアップ研修 「災害対応スタンプラリー」(国際課主催)に参加した、日本人参加者の声

誘われて災害対応スタンプラリーに参加してみましたが、バングラデ
シュのお兄さんたちが優しくしてくれたので、楽しかったです。

私は普段早口なので、外国人に対してゆっくり話すことや、ルビの必
要性などについて、改めて認識しました。確かに、もし私が海外に
行ったら、英語は早口ではなくゆっくり話してほしいなと思いました。

日本人同士でも同じですが、まずは友達になったり知り合いになっ
たりすることが大切だと思いました。地域の行事も顔をつなぐ機会
にできたらいいと思います。

